

スポット企画展示

ホスピタルショー委員会 保健・医療・福祉 部会

場所 東4ホール奥

動くロボットを体感！！

『高齢社会を支える 看護・介護ロボット』

超高齢社会へと進む「日本」では看護者・介護者の人材不足など多くの課題に直面しております。その中で、看護者・介護者の負担軽減のためのロボットや非看護者・非介護者のQOLを向上するために活躍するロボットを実際に体験していただくことで現場に役立つヒントを得ていただける場にしたいと考えております。「見て！乗って！動かして！」をテーマに皆様をお待ちしております。

車いすの概念が変わる！



移乗・移動ロボットKeipu

(株)アイザック

これまでにない、後ろから乗り込むタイプの電動車いす型ロボットです。病院と連携して開発を行い、現在福島県内の病院や施設に導入させていただいております。今後、医療・介護施設ではもちろん、博物館やショッピングモールといった、長距離歩行が必要な施設への展開も視野に入れながら、新しいモデルの開発にも取り組んでまいります。

回復期のリハビリにも活用！



「ロボットアシストウォーカー RT.2」

RT.ワークス(株)

RT.ワークスは「ロボット技術」と「IoT」によって皆さまがより豊かな生活を送れるためのサービスとものづくりを行っています。ロボットアシストウォーカーRT.1とRT.2はそんな想いをこめた製品です。「靴」のように自然に使って頂く事により皆様の「歩きたい」を叶える製品です。この製品を使う事で車椅子生活だった方が、歩ける様になったと喜びのお声も届き始めています。

美しいデザインと高い機能性！



「WHILL Model A」

WHILL(株)

2015 年度グッドデザイン大賞の高いデザイン性、横方向にも回転する特殊な前輪による小回り、4 輪駆動による走行性能（段差乗り越性能：最大7.5cm）を兼ね備えた次世代型電動車いすです。介護保険を利用したレンタルや、補装具費支給制度（補助金）の実績もあります。展示期間中はブースにて段差乗り越などの試乗が可能です。ぜひ高い走破性を体感ください。

まさに“着る”動作支援！



「着る」生活動作支援ロボット

curara® (クララ)

国立大学法人信州大学

curara®は必要な補助力を判断し、人の動きに合わせて（同調して）運動を補助します。さらにロボットの骨格を持たない独自の構造を有しており、人体骨格系を利用して関節運動の補助を行います。ナイロン樹脂を主な材質としているので軽量で装着しやすく、装着者の自然な動きを妨げません。リハビリ訓練の有用性、農作業動作補助の検討、コントローラ等の更なる軽量化を進めています。

欧州発のユニバーサルピークル



「RODEM」

(株)テムザック技術研究所

ベッドから車いすへの乗り移りで、高齢者や障がい者の転倒事故が多く、介護する人も肉体的負担が大きく、腰痛により介護を辞める原因にもなっています。RODEMは安全安心な移乗と移動を可能にしたロボット車いすです。デンマークでの実証で高齢者の自立と介護者の負担軽減に役立つと証明され、2017年ヨーロッパで先行販売、日本でも2018年には販売開始予定です。

自尊心を持った排泄を実現



「自動ラップ式排泄処理ユニット」

日本セイフティー(株)

水を使わず、熱圧着で自動で排泄物を個包装にします。排泄介護の中でも介助者の負担の大きいパケツ洗浄や後片付けの手間から解放され、毎回衛生的に密封することでご使用者は自尊心をもった排泄が出来ます。また、専用フィルムで毎回個包装にするので室内への臭いの拡散を防止します。介助者やご使用者の臭いの負担を取り除きます。